

ペプトン

微生物培養基用

ハイポリペプトン

HIPOLYPEPTON

【和光コード・包装】 392-02115 (500g)

398-02117 (20kg)

概要

本品は、牛乳カゼインを酵素分解後、精製し、乾燥した粉末である。水に溶けやすく、エタノールまたはエーテルに溶けない。

規格値

総窒素	11%以上
アミノ酸窒素 (バンスライク法)	5~7%
強熱残分	10%以下
乾燥減量	6%以下

用途

- ・ 本品は日本薬局方及び生物学的製剤基準に記載されている無菌試験用培養基の窒素源として最も適したものである。また衛生試験法における飲料水及び食品衛生検査指針中の微生物試験用培養基に使用する。
- ・ トリプトファンを多量に含有しているから、インドール産生試験に用い良好な結果が得られる。
- ・ カゼイン酵素分解ペプトンを必要とするDubos & Middlebrook の結核菌培養基に用い、その他各種微生物の大量培養基としても利用できる。

注意事項

本品は吸湿性があるので、固く密栓すること。室温保存。

参考文献

- 1) 坂崎利一他：新細菌培地学講座・上（第2版），培地素材 P115, 1986. 近代出版.
- 2) 生物学的製剤基準：一般試験法、2004
- 3) 日本食品衛生協会：食品衛生検査指針、微生物編、2004.
- 4) 水野伝一他：薬局10(8), 921, 1959.
ペプトン・肉エキス・寒天.
- 5) 水野伝一他：日本細菌学雑誌15(1), 114, 1960.
培地素材成分の諸問題.
- 6) R. J. Dubos et al: Am. Rev. Tuberc., 56, 334, 1947.
Media for tubercle bacilli.
- 7) 外村健三他：日本醗酵協会誌21(4), 129, 1963.
麹菌の菌体内 α -Amylase について.
(II) 隣ペプチドによる α -アミラーゼの離脱促進作用.
- 8) 山本昭夫他：日本細菌学雑誌24(8), 359, 1969.
破傷風トキソイドの副作用に関する研究 (I)
培地基材の毒素産生促進効果と感作原性.

ペプトン

微生物培養基用

ハイポリペプトンS

HIPOLYPEPTON S

【和光コード・包装】 394-02175 (500g)

390-02177 (20kg)

概要

本品は、植物性ペプトンで、脱脂大豆を酵素分解後精製し、乾燥した粉末で、水に溶けやすく、エタノールまたはエーテルに溶けない。

規格値

総窒素	7%以上
アミノ酸窒素 (バンスライク法)	3~5%
強熱残分	23%以下
乾燥減量	6%以下

用途

- ・ ハイポリペプトン（日本薬局方カゼイン製ペプトンに該当）の性能を補足するときに用いる。
- ・ 微生物の培養に広く利用され、医真菌、植物病原真菌、サルモネラ、ナイセリア、クロストリジウム等の発育困難な菌の培養に適している。

注意事項

本品は吸湿性があるので、固く密栓すること。室温保存。

参考文献

- 1) 坂崎利一他：新細菌培地学講座・上（第2版），培地素材 P115, 1986. 近代出版.

ペプトン

微生物培養基用

ハイポリペプトンN

HIPOLYPEPTON N

【和光コード・包装】 397-02121 (300g)
395-02127 (10kg)

概要

本品は、植物性ペプトンで、大豆精製物を微生物由来酵素で分解後精製し、乾燥した粉末で、性能はハイポリペプトンと同等である。

規格値

総窒素・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12%以上
アミノ酸窒素（バンスライク法）・・・・・・ 5～7%
強熱残分・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15%以下
乾燥減量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6%以下

用途

非動物性ペプトンで用途はハイポリペプトンと同様である。

注意事項

本品は吸湿性があるので、固く密栓すること。室温保存。

ペプトン

微生物培養基用

ハイポリペプトンNS

HIPOLYPEPTON NS

【和光コード・包装】 393-02101 (300g)
391-02107 (10kg)

概要

本品は、植物性ペプトンで、脱脂大豆を微生物由来酵素で分解後精製し、乾燥した粉末で、性能はハイポリペプトンSと同等である。

規格値

総窒素・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7%以上
アミノ酸窒素（バンスライク法）・・・・・・ 3～5%
強熱残分・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23%以下
乾燥減量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9%以下

用途

非動物性ペプトンで用途はハイポリペプトンSと同様である。

注意事項

本品は吸湿性があるので、固く密栓すること。室温保存。

ペプトン

微生物培養基用

ハイカザミノ酸「ダイゴ」

HICASAMINO ACIDS 》 DAIGO 《

【和光コード・包装】 393-02145 (500g)
399-02147 (10kg)

概要

本品は牛乳カゼインの酸分解物でたん白質はほとんどアミノ酸にまで分解されており、しかもたん白性以外の栄養源または発育因子はほとんど含まない。したがって細菌生理学、同遺伝学などの基礎的分野に使用する培地の純窒素源として、あるいはビタミン（とくにB₁₂）の定量用培地における窒素源として用いられ、またミュラー・ヒントン培地のように酵素消化ペプトンの使用が好ましくない培地への栄養源として利用されている。

規格値

総窒素	7%以上
アミノ酸窒素（バンスライク法）	54～83%
強熱残分	52%以下
乾燥減量	8%以下
塩化物（NaCl）	28～40%
pH	6～7

注意事項

本品は吸湿性があるので、固く密栓すること。室温保存。

参考文献

- 1) 坂崎利一他：新細菌培地学講座・上（第2版），
培地素材 P115, 1986. 近代出版。

酵母エキス

微生物培養基用

粉末酵母エキスSH

DRIED YEAST EXTRACT SH

【和光コード・包装】 394-02131 (250g)
392-02137 (10kg)

概要

本品は、ビール酵母（*Saccharomyces Cerevisiae* Meyen）の水溶性成分を特殊な方法により抽出し、乾燥した淡褐色の粉末で、ビタミン群、各種ミネラル類等を含んでいる。したがって、本品を肉汁または肉エキスにかえて一般培養基に使用するときは、良好な結果が得られる。

規格値

総窒素	6.0%以上
アミノ酸窒素（バンスライク法）	2.5%以上
強熱残分	18.0%以下
乾燥減量	9.0%以下

用途

- ・ 無菌試験用液状チオグリコール酸培地に発育要素として使用する。
- ・ Bioassayに用いる乳酸菌類の培養に適している。
- ・ 牛乳製品あるいは食品の微生物検査用培地に使用する。
- ・ 抗生物質発酵等の培養基材に適している。

注意事項

本品は吸湿性があるので、固く密栓すること。室温保存。

参考文献

- 1) 坂崎利一他：新細菌培地学講座・上（第2版），
培地素材 P115, 1986. 近代出版。

酵母エキス

微生物培養基用

粉末酵母エキス D-3 H

DRIED YEAST EXTRACT D-3H

【和光コード・包装】 398-02151 (250 g)

396-02157 (10kg)

概要

本品は、ビール酵母 (*Saccharomyces Cerevisiae* Meyen) の水溶性成分を独自の自己消化法により抽出し、乾燥した淡褐色の粉末で、ビタミン群、各種ミネラル類等を含有している。

規格値

総窒素	10.0%以上
アミノ酸窒素 (バンスライク法)	5.0%以上
強熱残分	15.0%以下
乾燥減量	8.0%以下

用途

- ・ 無菌試験用チオグリコール酸培地に発育要素として使用する。
- ・ Bioassayに用いる乳酸菌類の培養に適している。
- ・ 牛乳製品あるいは食品の微生物検査用培地に使用する。
- ・ 抗生物質発酵等の培養基材に適している。

注意事項

本品は吸湿性があるので、固く密栓すること。室温保存。

参考文献

- 1) 坂崎利一他：新細菌培地学講座・上 (第2版)，培地素材 P115, 1986. 近代出版。

酵母エキス

微生物培養基用

粉末酵母エキス F H

DRIED YEAST EXTRACT FH

【和光コード・包装】 393-02167 (10kg)

概要

本品は、ビール酵母 (*Saccharomyces Cerevisiae* Meyen) の水溶性成分を独自の自己消化法により抽出し、乾燥した淡褐色の粉末で、ビタミン群、各種ミネラル類等を含有している。

規格値

総窒素	10.0%以上
強熱残分	15.0%以下
乾燥減量	6.0%以下
pH	5.0~6.0

用途

- ・ 無菌試験用チオグリコール酸培地に発育要素として使用する。
- ・ Bioassayに用いる乳酸菌類の培養に適している。
- ・ 牛乳製品あるいは食品の微生物検査用培地に使用する。
- ・ 抗生物質発酵等の培養基材に適している。

注意事項

本品は吸湿性があるので、固く密栓すること。室温保存。